

平成 23 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ダ マ ツ
 代表者の役職氏名 代表取締役 貞松 隆 弥
 社 長
 (J A S D A Q ・ コード 2 7 3 6)
 問い合わせ先 執 行 役 員 磯 野 紘 一
 管 理 部 長
 電 話 番 号 0 3 - 5 7 6 8 - 9 9 5 7

業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 10 月 13 日に公表しました業績予想を修正いたします。また、平成 23 年 8 月期において、下記のとおり特別損失を計上いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 8 月期 連結業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 8 月期通期 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 7,300	百万円 240	百万円 180	百万円 30	円 銭 2.70
今回予想 (B)	7,506	242	194	97	8.78
増減額 (B - A)	206	2	14	67	
増減率 (%)	2.8	0.8	7.8	223.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 8 月期)	7,199	171	104	7	0.67

(2) 修正理由

平成 23 年 8 月期の通期連結業績予想につきましては、公表しておりました予想数値を全体的に上回る見込みであります。

売上高につきましては、東日本大震災直後に大きく落ち込んだものの、その後は人々の絆やつながりを見直す意識の高まりから絆関連商品の需要拡大を背景に持ち直したことに加え、前期より取り組んでいる販売力や CRM の強化施策に期待以上の効果が得られたため予想を上回る見込みであります。

営業利益及び経常利益については、人員補強による組織体制強化のために要した費用等が影響し、前期に比べ販売費及び一般管理費が増加しましたが、それ以上に売上総利益額が増加したためそれぞれ予想を上回る見込みです。

当期純利益に関しては、後述の「3. 特別損失の計上について」に記載の通り特別損失の計上があるものの、営業利益及び経常利益における増加要因に加え、平成 23 年 3 月 31 日に公表しましたとおり固定資産の譲渡として土地建物の売却による特別利益を 29 百万円計上したこと、さらに国内子会社の解散に伴う税効果の適用により税金費用が 46 百万円減少したことから期首の予想数値を大幅に上回る見込みであります。

2. 平成 23 年 8 月期 個別業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 8 月期通期 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 7,150	百万円 235	百万円 170	百万円 30	円 銭 2.70
今回予想 (B)	7,430	237	187	43	3.91
増減額 (B-A)	280	2	17	13	
増減率 (%)	3.9	0.9	10.0	43.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 8 月期)	7,149	182	105	△2	△0.25

(2) 修正理由

平成 23 年 8 月期の通期個別業績予想につきましては、公表した予想数値を全体的に上回る見込みであります。

売上高につきましては、連結売上高における要因と同様に、予想を上回る見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、連結営業利益及び連結経常利益における要因と同様に、それぞれ予想を上回る見込みです。

当期純利益につきましては、後述の「3. 特別損失の計上について」に記載の通り特別損失の計上があるものの、営業利益及び経常利益における増加要因に加え、平成 23 年 3 月 31 日に公表しましたとおり固定資産の譲渡として土地建物の売却による特別利益を 29 百万円計上したことから期首の予想数値を上回る見込みであります。

3. 特別損失の発生について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する土地について減損処理を行い、減損損失 32 百万円を計上いたします。

なお、特別損失につきましては、上記 1. 及び 2. の業績予想数値に反映済みであります。

以 上